

和江漁協魚津地区新規漁場開発調査

勢村 均

1. 調査目的

当地区にアワビ礁が大田市補助 80 万円，漁協 80～100 万円，計 180 万円程度の事業費で，7～8 月に設置される予定である。当調査は設置に先だって適当な場所を選定する目的で行なわれた。（設置礁は花型ブロック）

2. 地区概況

昭和 56 年度和江漁協販売事業のうち貝類 3,354 kg，5,330 千円，藻類 11,048 kg，2,718 千円であった。

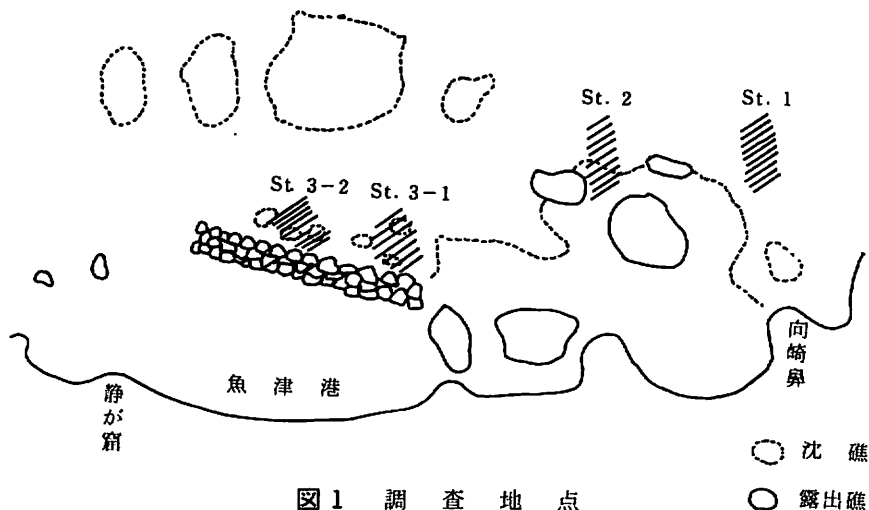
魚津地区の採貝藻漁業者は，かなぎ 9 人，潜水 1 人で水揚高は，40～100 万円／人である。専門者は存在しない。

3. 調査期日

昭和 57 年 6 月 19 日

4. 調査方法

魚津地区地先に図 1 に示す 4 定点を設け，海底形状，植生，アワビ相対密度について，スキューバ潜水により調査した。



海底形状については目視で、植生については1点につき1カ所0.25 m²の坪刈りを行ない、種類および現存量を調べた。アワビ相対密度とは各点で10分間の探索で発見されたアワビ個体数であり、各点間の真のアワビ生息密度と比例する値としてあつかった。

5. 結 果

A：海底形状

(1) St. 1

水深約5 mの砂地の上に、たて50 m×よこ50 m×高さ2 m程度の平坦な岩盤が散在している。岩盤のくぼみ、すき間にはかなりゴミがたまっている。潮流はかなり早い。付近の流入河川（静間川）の影響を受けるためか、にこりがやや強かった。

(2) St. 2

水深約6 mの砂地の上に高さ3～4 mの岩礁がかなり密に存在している。礁面にはアワビ生息に好適と思われる間隙が多く形成されている。潮流はかなり早い。

(3) St. 3-1

水深約3 mの砂地の上に平均50 cm径程度の岩石が転在している。砂は1～2 cmの厚さであり、下は岩盤となっている。転石は組合されて間隙を形成している。

(4) St. 3-2

水深約3 mの砂地の上に高さ2 m程度の岩礁がかたまって防波堤の近くに存在する。砂は掘ると下が黒変している。

B：植 生（表1）

(1) St. 1

エビアマモおよびアラメが主体である。灘側では現存量が多いが、沖側にむかって少なくなり、ウミウチワが散在するようになるのが観察された。

(2) St. 2

アラメ、クロメ、エビアマモが主体である。全般に岩礁部では植生（海藻種類、量）が一定している。

(3) St. 3-1

アラメ、クロメ、エビアマモが主体である。転石部の植生はほぼ一定している。

表1 植生調査結果

Sp. \ St.	1	2	3-1	3-2
ア ラ メ	1,400	880	2,440	6,520
ク ロ メ		480	600	120
ワ カ メ		200		240
オオバモク			280	
ヤツマタモク			320	
ヘラヤハズ	360	320		
アミジグサ	40	40		
ウミトラノウ		4		
エゾヤハズ		4		
ヒラクサ		20		
エビアマモ	2,360	520	800	
合 計	4,160	2,468	4,440	6,880

（単位：gr. wet-wt. / m²）

(4) St. 3-2

アラメが主体である。現存量は4定点中最も多く、岩礁部には海藻が密生する。

C: アワビ相対密度

St. 1およびSt. 3-2では0個体であった。St. 2では3個体/10分, St. 3-1では9個体/10分発見された。また, St. 3-1ではトコブシが多く生息しているのが観察された。また, 輪紋法による成長の観察では, 当地区のアワビは3年半~4年で殻長10cmに達すると思われた。

(但し, 観察個体が少ないため, 推定)

6. 適地選定

調査を行なった4点を, 天然アワビ(成貝)漁場として評価するとSt. 2が最もよく, アワビ未成貝育成場として評価するとSt. 3-1が最もよい。つまりSt. 2では潮通しがよく岩礁が起伏, 間隙にとむため, 成貝の好適付着場所が多く, また植生に餌料として好適な種が優占しており, 水深もやや深い。一方, St. 3-1では比較的安定した転石の組合せで未成貝の好適付着場所が多く形成され, 潮通しがよく, 餌料藻が多く, 水深は浅い。また, 潜水漁業者の観察ではSt. 3-1の東灘側(水深0.5~2m)に殻長2~4cmのアワビ稚貝が多数生息するとしている。

当地区に設置される予定の花型ブロックの特徴は, アワビ稚貝および未成貝に好適な間隙をもっていることであるから, ブロック設置区域はSt. 3-1から東灘側にかけてが適当であると考えられる。但し, 設置にあたっては, ブロックが波浪によって移動しないように設置場所, 方法を検討する必要がある。

表2 採捕生物調査表

種名	St.	殻長 (mm)	殻巾 (mm)	殻高 (mm)	重量 (g)	
クロアワビ	3-1	112.0	84.5	21.7	203	
	3-1	93.1	69.7	16.7	88	
	3-1	100.0	72.5	16.3	118	
	2	109.3	75.0	19.0	142	
	2	87.0	66.0	15.3	72	
	2	108.9	83.0	19.4	147	
メガイアワビ	3-1	112.6			128	クロアワビ成長度(参考)
トコブシ	3-1	53.0			18	ふ化後年数 測定個体数
	3-1	44.6			10	1年 26.8 ± 0.4 mm 2個体
	3-1	51.3			18	2年 44.3 ± 8.5 mm 6個体
サザエ	3-1				82	3年 80.5 ± 10.6 mm 5個体
	3-1				113	
	3-1				90	
	3-1				160	
	2				230	
	2				210	
	2				240	